



神奈川県環境学習リーダー会 会報 No. 38

2004年
4月5日

役員会報告 (事務局長 山田あや子)

5月役員会 (5月10日)

1. 総会の執り行いについての最終確認、総会当日の受付などの役割分担の決定。
2. 役員会での報告事項
 - 1) 「第3回 親子で楽しむ環境展」
実行委員会討議内容と環境展は下記が主催、後援してくれる旨を北村実行委員長が報告。
県地球温暖化防止活動推進センター、神奈川県、
かながわ地球環境保全推進会議が主催、横浜市

教育委員会、横浜市環境保全局が後援。

2) 地域活動サポート部

「地域活動および環境学習の講師などの実態調査のアンケート」を会報 38号で実施することを報告。内容を確認。

平成 16 年 5 月度役員会 (5 月 15 日)

1. 総会終了後、役員会を開催。
2. 活動の原則と役員の役割・分担を確認。
役員会開催は、毎月第2月曜日 13時～17時、原則として、かながわ県民センターに決定。

代表の挨拶

(平成 16 年度総会)

平成 16 年 5 月 15 日

代表 近藤 作司

平成 15 年度に引き続き代表を勤めさせて頂きます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年度は先ほどご承認頂きました新役員 7 名、再任 5 名、元役員 1 名及び監事 2 名の役員構成で取り組んでいきます。新役員及び担当については右表をご参照ください。本総会を以って退任されました石丸さん、木本さん、高橋さん、高田さん、萩原さんそして途中から役員代行を引き受けてくださいました猪股さん、監事の清水さん、児玉さん、大役を真摯に取り組んで頂き誠に有難うございました。今後ともご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

冒頭にも申し上げましたように、15 年度は県レベルの事業委託が NPO 等にも出されるようになりました。こういった機会は大事に対処し、会員の場が広がるようにしたいと思います。また、「新アジェンダ 21 かながわ」実践行動に対して、会員数約 170 名を擁しているわが K・リーダー会は率先して取り組むべきであると考えています。その為に事務局に「新アジェンダ 21 かながわ」推進担当を配置しました。今年度は「かながわアジェンダ推進センター」並びに「県地球温暖化防止活動推進センター」の事業に携わる機会が増えると思います。既に 6 月の「親子で楽しむ環境展」の開催はこの線で進んでいます。

地域活動サポート部の活動も 2 年目に入り、会員皆さんの地域での活動が一層活発にそして拡大しま

平成 16 年度役員と監事

代表	近藤 作司	(8 期)
副代表	市川 勇	(4 期)
副代表	黒澤 宏	(10 期)
事務局長	山田 あや子	(8 期)
事務局 (新アジェンダ 21 かながわ推進担当)	大森 勝	(11 期)
事務局 (子ども環境講座担当)	安丸 元一	(8 期)
会計担当	柳川 三郎	(9 期)
広報部長 (兼)	黒澤 宏	(10 期)
地域活動サポート部長	香川 興勝	(11 期)
事業担当		
(エネルギー部会)	北村 博子	(5 期)
(ケナフ部会)	阿部 洋子	(2 期)
(自然環境部会)	岩田 寿郎	(9 期)
(廃棄物・リサイクル部会)		
(兼)	市川 勇	(4 期)
(大気環境部会)	鎌田 英光	(11 期)
(水環境部会)	古谷 敏夫	(9 期)
監事	木本 光昶	(8 期)
監事	高橋 尚道	(7 期)

平成 16 年度部会長

エネルギー部会	北村 博子	(5 期)
ケナフ部会	荒谷 輝正	(6 期)
自然環境部会	岩田 寿郎	(9 期)
廃棄物・リサイクル部会	市川 勇	(4 期)
大気環境部会	猪俣 満智子	(1 期)
水環境部会	斉藤 昭一	(1 期)

すように色々な支援をさせて頂く所存です。また部会活動も含め、会員相互の研鑽等、外部研修などの支援も考えています。平成 16 年度の事業の中でご説明申し上げました通り、支援の中味は、予算の許す限り費用支出があっても良いと考えています。

今年度も 2 回の意見交換会を計画しますが、そのうち 1 回は昨年同様自然観察会等と連携して開催し

新役員紹介

事務局長 山田 あや子

5 月 15 日(土)に総会が終了し、平成 16 年度の活動がいよいよ開始致しました。今年度も引き続き近藤代表を中心に、K・リーダー会の基本方針にもあります「相互の情報交換と積極的な研鑽、また、習得した知見を地域の環境学習・環境保全活動に生かす」ために、会員の皆様がより活動をし易い事業の企画・推進を図って参りたいと思っております。

ここで、総会において承認されました平成 16 年度の役員を紹介致します。

代表 近藤作司氏、事務局長 山田あや子、会計担当 柳川三郎氏は昨年と同様の役務となります。

副代表は、今年度は 2 名で黒澤 宏氏と市川 勇氏。黒澤氏は広報部長兼務となります。養成講座 4 期修了の市川氏は、今まで仕事の関係で K・リーダー会の企画事業に参加することが出来なかったが、今後は、自分が取り組んできた分野を K・リーダー会の中で生かしていきたいと語っておられます。市民環境活動報告会の実行委員長としても活動していただくことになっております。

昨年新設された地域活動サポート部の部長に香川興勝氏。11 期修了の香川氏は、支援講座の修了者は K・リーダー会に入会出来ないと聞き、実践者養成講座を受け直したとのことでした。

たい。会員 170 名のうち、今回の総会にご出席いただいた方と委任状を出して頂いた方を合わせても 120 名弱です。もっと大勢の方が参加される方策を考えたいと思います。皆さんのご協力をお願いいたします。

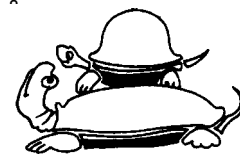
最後になりましたが環境科学センターのご関係の皆様の一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

事務局は新アジェンダ 2 1 かながわ推進担当の大森勝氏と子ども環境体験教室等担当の安丸元一氏が新任で役務に着きました。安丸氏は、養成講座 8 期修了で、講座修了後 JICA の一員としてご夫婦で 2 年間ザンビアで活動して来られました。

事業担当(部会)は、総会資料の通りですが、特に、今までの「環境モニタリング部会」「大気環境部会」「水環境部会」として新たな活動を展開することとなりました。大気環境部会担当として鎌田英光氏、水環境部会担当として古谷敏夫氏が着きました。エネルギー部会担当は 5 期の北村博子氏が再度就任、ケナフ部会担当は安部洋子氏が引き続き担当します。自然環境部会担当は 9 期の岩田寿郎氏が就任しました。岩田氏は森林インストラクター、自然観察指導員としても活躍しています。

今後、役員が協力し合いながら平成 16 年度の事業計画を実施して参ります。会員の皆様におかれましては、是非、企画事業に積極的にご参加下さいます様お願い致します。

最後に、年度末を以て役員を退任された石丸様、木本様、高橋様、高田様、萩原様並びに期の途中から役員代行を務めていただきました猪股様に心から感謝を申し上げます。



平成 16 年度の総会が開催されました

前事務局 高橋 尚道

5 月 15 日 13:00 から、神奈川県環境科学センターで、平成 16 年度の K・リーダー会総会が開催されました。

当日は、会員 37 名、環境科学センターの武繁春所長、環境学習担当の野崎隆夫氏の両来賓および賛助会員で県環境計画課の青山尚巳氏が出席されました。

総会は、内藤克利氏の総合司会で、近藤代表挨拶、石丸副代表による開会宣言に続いて、来賓の武所長

から、自己紹介を兼ねた同氏の活動経過について話され、平成 16 年度は県民との協働重視を掲げているので、是非協力願いたい旨のご要望がありました。

次に議長選出に移り、森千春氏が選任されました。資格確認では、山田あや子事務局長から、会員総数 168 名、委任状を含めた出席者 113 名(会場の出席者 37 名)で、本総会は成立する旨の報告がありました。

また、議長は議事録署名人に森議長、清水幸夫監

事、並びに児玉勇監事の3氏を指名し、書記に、高橋を指名して議事に入りました。

議事は、総会案内に同封された「平成16年度 神奈川県環境学習リーダー会 総会資料」(以下資料と略称します)に基づいて進行されました。

第1号議案 平成15年度事業報告承認の件

事務局長から資料に基づいた説明があり、原案通り承認されました。

第2号議案 平成15年度収支決算報告、会計監査報告承認の件

柳川三郎会計担当から、資料による報告とこれに引き続き児玉監事から監査報告があった。

児玉監事より「収支決算は適正と認めるが、摘要欄で、協力金を拠出した環境学習アドバイザーの延べ人数が55名とあるのは、102名の誤りではないか。」との指摘があり、議長が事務局長に確認した結果、指摘通りであることが判明した。議長は書記に訂正を指示した後、本議案の賛否を諮り異議なく承認された。

第3号議案 平成16年度役員選出の件

事務局長から、環境モニタリング部会が、大気環境部会と、水環境部会に分割された件等、資料に基づいて説明がおこなわれ、特に異議がなく、原案通り承認。

第4号議案 平成16年度事業計画、および

第5号議案 平成16年度予算案

議長の提案により平成16年度の事業計画と予算を一括審議。

まず、事務局長から、第4号議案、平成16年度事業計画について、資料に基づき説明。引き続き柳川会計担当から、第5号議案の説明に先だって、特別会計欄の前期繰越金が21,381円となっているが、この資料製本後の3月31日に環境学習アドバイザーの協力金の入金があったため、実際は16,000円増の37,381円、従って特別会計合計額は333,381円となるのでご訂正いただきたい旨、説明があり了承された。

予算案説明後の主な質疑応答。

(1) 問：特別会計では、収入しか計上されていないが、支出も入れるべきではないか。

答：17年度から改正を考える。

(2) 問：公益法人の会計では、会費等の収入に課税することが検討されているがK・リーダー会の対応は。

答：今後検討して行く。

(3) 問：メーリングリストに役員会の議事録を載せて載きたい。

答：会報の第1ページに役員会報告を載せてい

る。ただし、会報は隔月の発行なので、もう少し迅速にというのであれば、今後検討する。

(4) 問：環境展、子ども環境体験教室等、K・リーダー会の活動と、かながわアジェンダ推進センターとの関わりはどのようになっているのか。

答：環境展については、NPO かながわアジェンダ推進センターの第2年度の事業に組み込まれることになり、約45万円の予算が用意されている。また、今回の環境展は、神奈川県、かながわアジェンダ推進センター、かながわ地球環境保全推進会議とK・リーダー会の4者共催になる。さらに、かながわアジェンダ推進センターは神奈川県から「神奈川県地球温暖化防止活動推進センター」の指定を受けているので、今後、K・リーダー会とは様々な接点が生じるものと思われる。

このほか、部会に加入しないで様々な活動している会員に対する支援強化の要望が出された。

質疑応答の後、議長は本議案の賛否を議場に諮り、賛成多数で承認された。

第6号議案 規約改定案

事務局長から、趣旨説明と資料の文字の訂正(改訂 改定、改定案第21条の出席会員 出席正会員、にそれぞれ訂正)があった後、改定案作成に携わった柳川氏から、資料に基づく改定案の細部説明が行われ、続いて質疑応答が行われた。

(1) 第12条のようにがちがちに枠をはめてしまうのはよくないと思う。もっと緩やかな方がよいのではないか。

(2) 可否同数のときは、議長が決するとあるが、ここでは必ずしも白黒をつけるというのではなく、白黒をつけないという決断も可能ではないか。

(3) 会員の範囲を広めてはどうか。来年までに検討してもらいたい。

(4) 決を採る場合、12条だけ反対という選択肢をもうけるべきではないか。

等、議論が多く出たが、代表から、今回は一括で賛否の決を採ることで了承したいとの発言があり、採決の結果、規約の改正には、出席正会員の3分の2以上の賛成が必要なのに対し、賛成34名、反対2名で、本案は原案通り承認された。

以上の全議案の審議が終了した後、新役員の紹介(退任役員は時間の都合で省略)と、代表による運営方針の表明があり、最後に、市川新副代表の閉会宣言があつて、総会の行事はすべて終了しました。

役員退任の方々のメッセージ

2年間の事業担当を辞任して

前副代表 石丸 博司

平成13年「環境実践者養成講座」最終日、誘われるままK・リーダー会に入会、2年前の4月に役員をお引き受けしました。始めのころは部会の趣旨や狙いなど事情が良く分からず環境問題の大きなうずのなかで夢中で走っていたように思います。

K・リーダー会のなかでの部会活動はこれでよかったのか、環境問題の取り組みや社会の活動にお役に立ったのだろうか不安も多々あります。それだけにまわりの皆様に大変はご迷惑を掛けていたのではないかと心配もしています。

2年間の活動の総括。

・初年度は部会の活動としてそれぞれの地域社会や家庭で取り組む課題の模索とK・リーダー会(部会)の使命と役割の方向付け。それに向けてどのような手法やアプローチが可能かの検討。またアクションに結びつけるための手法とし診断的アプローチを模索した。結果的に相模湖での環境展で

「エコライフ健康診断」として不十分ながら産声を上げました。

・2年目は「エコライフ健康診断」をより妥当性と利便性のある診断アプローチへと模索する年でした。昨年の暮れ県からの要請で年明けからK・リーダー会のメンバー9人でリーフレット「ライフスタイルを見直そう!」を完成しました。16年度は適応と実施に向け取り組んでいく年になれば幸いです。

また部会としては昨年の夏頃から更なる循環型社会の構築へと、廃棄物を資源と位置づけた「ゼロ・ウェイスト」社会に向けて川巾を広げた活動の方向付けをしてきました。後任の市川さんはじめ皆様方と共に、活動の有効性を高める事ができれば幸いです。

また役員の一員として「環境実践者養成講座」11期のワークショップのテキスト・資料づくり。「市民環境活動報告会」での関係者の皆様方からの支援など大変ありがとうございました。紙面を借りて御礼申し上げます。

退任にあたって

前事務局 高橋 尚道

2年前、事務局担当になって、私が進めたかったのは、

- (1) 会員を主体とするNPO法人の設立
- (2) 部会に所属しない多くの会員が、気軽に参加できる行事の開催

といったことですが、私の実力不足のために、いずれも実現できなかったことを申し訳なく思っております。

ます。

幸い、16年度では、環境モニタリング部会が大気環境部会と水環境部会に発展的に分割されたために、部会参画への選択肢が増えましたし、新規事業費220,000円の新設で、部会とは関係ないところで活動しておられる会員にも、支援が可能になりました。

これまで、会報以外にK・リーダー会とは殆ど繋がりがなかった多くの会員が、「会員になってよかった」と思えるような会に発展されることを心から願って、退任のご挨拶に代えさせて戴きます。

退任の挨拶

前事業担当 萩原 秀人

K・リーダー会のみなさま、私はエネルギー部会担当役員として2年の任期をまっとうできず誠に申し訳ありませんでした。近藤代表をはじめ他の役員の方に多大なご迷惑をおかけしましたことを、この場をお借りして謝りたいと思います。

さて、昨年9月に社命で福岡県の食品会社の工場環境室長なり、現在福岡県甘木市の田舎で単身赴任をしております。K・リーダー会で培った環境関

係のいろいろなことが大変役に立っています。

工場は現在リニューアル工事中で生産性向上等、省エネを一段進めCO₂排出を大幅削減しよう計画しています。目玉は、重油から天然ガスに燃料転換し、しかも送電ロスのないオンサイト発電と蒸気回収を同時に行なうコージェネレーションシステムをはじめ、工場排水の嫌気処理排水浄化システムより排出するバイオガスを天然ガスと混合燃焼する計画をしています。福岡にいる間は一企業の一員として、また、K・リーダー会の会員として工場の省エネとCO₂削減に貢献していきたいと考えております。

す。
神奈川県にもどるまでは、K・リーダー会およびエネルギー部会の一会員としてできる範囲で協力し

ていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

反省多々の3年間

前地域活動サポート部長 木本 光祖

3年前の総会において事業担当を任せられ、この間、環境モニタリング部会、新規プロジェクト、地域活動サポート部長を担当させていただきました。今から振り返ってみると、いずれの担当においても十分な責務が果たせなかった思いで一杯です。

しかし、「子ども環境体験教室」の開催や「地域活

動サポート部」の立ち上げなど、様々な事業活動に関わることができたことは私にとって貴重な経験でした。

特に、「地域活動サポート部」は誕生間もない部ですが、今後のK・リーダー会の運営上極めて大切な組織であると認識しています。今後は一部員として協力していきたいと考えています。

3年間、会員の皆さまのご協力ありがとうございました。

地域活動グループおよび環境学習の講師などの実態調査

地域活動サポート部長 香川 興勝

一昨年の11月発行の会報No.29で地域担当と講師に関するアンケートを実施し、60名以上の会員から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

昨年8月に、会員の地域活動を支援することを目的として地域活動サポート部が発足いたしました。そして今年度の活動方針を、各地域のグループの活動状況について情報収集し、その情報を有効活用することによって地域活動を活性化することを目標にしています。

最近K・リーダー会の事業活動も活発になり、受託事業の企画や講師派遣の機会が増えてきました。その後、新規の会員数も増えたこともあり、前回おこなったアンケートを参考にしながら、異なった視点で地域活動および環境学習の講師や企画運営についてのアンケートをおこなうことにしました。

皆さまのご協力をお願いします。

[アンケートの調査内容]

A 地域活動グループの実態調査

1 調査の対象者

- 1) 既に地域活動を実践している人
- 2) これから地域活動を立ち上げようとしている人
- 3) 地域活動をおこないたいと考えているが、どのようにしてよいか判らない人

2 調査の内容

活動目的、分野、地域、規模(人数)、現在抱えている課題などについて調査

B 環境学習の講師と企画運営の調査

講師・企画運営の経験の有無、得意な分野、指導の対象、資格、所属団体などについて調査

[アンケート]

A 地域活動グループの実態調査

Q1(既に地域活動を実践している人)か、Q2(これから地域活動を立ち上げようとしている人、または地域活動を行ないたいと考えているが、どのようにしてよいか判らない人)のいずれかにお答えください

Q1

- 1-1 どのような目的で活動していますか
- 1-2 どのような分野で活動していますか(複数回答可)
 - (1)自然保護・保全 (2)自然体験
 - (3)エネルギー (4)廃棄物・資源
 - (5)大気 (6)水 (7)生物
 - (8)化学物質 (9)グリーンコンシューマー
 - (10)食 (11)まちづくり
 - (12)環境教育・環境学習
 - (13)その他()

- 1 - 3 活動している地域はどこですか
 (1) 神奈川県全域
 (2) 地域限定(市町村名)
- 1 - 4 グループについて
 (1) グループの名称 (2) 代表者
 (3) 連絡先(住所、TEL/FAX、メールアドレス)
 (4) 会員数
 (5) グループ内でのあなたの役割
- 1 - 5 活動資金はどのようにしていますか(複数回答可)
 (1) 会費 (2) 受託事業 (3) 助成金
 (4) 寄付 (5) その他()
- 1 - 6 年間の運営費はどの位ですか
 (1) 20万円以下 (2) 20~50万円
 (3) 50~100万円 (4) 100~500万円
 (5) 500万円以上
- 1 - 7 現在の課題は何ですか
 (1) 活動資金 (2) 会員の確保
 (3) イベントの参加人員 (4) 広報活動
 (5) その他()
- 1 - 8 所属している環境関係の団体
- 1 - 9 K・リーダー会か地域活動サポート部に要望することは何ですか
- 1 - 10 自由意見

Q2

- 2 - 1 どのような目的で活動しようとしていますか
- 2 - 2 どのような分野で活動したいですか(複数回答可)
 (1) 自然保護・保全 (2) 自然体験
 (3) エネルギー (4) 廃棄物・資源
 (5) 大気 (6) 水 (7) 生物
 (8) 化学物質 (9) グリーンコンシューマー
 (10) 食 (11) まちづくり
 (12) 環境教育・環境学習
 (13) その他()
- 2 - 3 活動したい地域はどこですか
 (1) 神奈川県全域
 (2) 地域限定(市町村名)
- 2 - 4 活動しようとする仲間はいませんか
 (1) いる(人...それはK・リーダー会員ですか Yes / No)
 (2) いない
- 2 - 5 所属している環境関係の団体
- 2 - 6 現在困っていることはなにですか
- 2 - 7 K・リーダー会か地域活動サポート部に要望することは何ですか
- 2 - 8 自由意見

B 派遣講師・企画運営の調査

- 1 - 1 環境学習の派遣講師の希望者は次の点を含む内容の記述をお願いします。
 (1) 講師としての経験の有無(在職時の経験を含む。経験有の場合はその内容をできるだけ詳しく記入してください)
 (2) 得意とする環境の分野
 (3) 対象者(小・中学生、高校生、一般)
 (4) K・リーダー会で環境に関する勉強会を開催した場合、自分が講師として話しをすることを希望しますか。その場合、どのようなテーマで話をしますか。
 (5) 環境関係の資格を記入してください。
- 1 - 2 企画運営の希望者は次の点を含む内容の記述をお願いします。
 (1) 企画の経験の有無(在職時の経験を含む。経験有の場合はその内容をできるだけ詳しく記入してください)
 (2) 得意とする環境の分野
 (3) 対象者(小・中学生、高校生、一般)

回答者
 氏名
 住所
 TEL/FAX
 Eメール

[回答方法]

会報に同封した別刷りの回答用紙(*)に記入の上、Eメール、FAX、郵送のいずれかの方法で下記の送付先までご回答ください。また、記入欄の不足する人は適宜用紙を追加してください。

(*)回答用紙はK・リーダー会ML(メーリングリスト)のホームページ内のブリーフケースにもあります。Eメールで回答される方はML内の回答用紙をご利用ください。MLホームページへのアクセス方法は、本誌の「豆知識のページ」をご覧ください。

回答期限 6月20日

回答の送付先

氏名 香川 興勝
 住所 〒252-0851 小田原市曾比2312-5
 TEL/FAX 0465-36-9027
 Eメール yoshikatsu_kagawa@ybb.ne.jp



「子ども環境体験教室」 3年目の開催！

事務局(子ども環境体験教室担当) 安丸 元一

環境科学センター主催、K・リーダー会協力で開催される「子ども環境体験教室」は今年で3年目を迎えました。昨年はセンターのご指導と皆様のご協力により、既に会報で報告しましたように、子供たちには楽しく、そして有意義な体験教室を開催することができました。

今年は環境科学センターのご意向もあり、企画内容、基本的考え方は昨年と同様ですが話し合いの結

果以下の3点について変更しました。

- 1.参加者は小学4年～6年生とする(15年度は小学4～中学3年生)
- 2.参加者案内には「保護者同伴歓迎」とする(15年度は「保護者同伴可」)
- 3.実施日は夏休み中にする(土、日も可とする。15年度は平日を基本としたが)

開催される教室の内容は下表のとおりです。昨年と同様にK・リーダー会会員特に講師の方々のご協力をお願いいたします。

なお、詳細はこの会報に同封している環境科学センターのチラシ「子ども環境体験教室」をご覧ください。

平成16年度子ども環境体験教室

教室名	日時	代表講師	備考
1 ツバメ、朝顔で環境チェック	7月17日(土) 13時～16時	猪股	[場所] 神奈川県環境科学センター [対象] 小学校4～6年生 (保護者同伴歓迎) [募集人員] 各教室24名 [問合せ先] 神奈川県環境科学センター 環境学習担当 TEL 0463-24-3311
2 写真立てを作ろう	7月28日(水) 10時～15時	高尾	
3 ソーラークッカーを作ろう	8月01日(日) 10時～14時	秋吉	
4 節電タップを作ろう	8月22日(日) 13時～16時30分	北村	
5 ケナフ染めに挑戦しよう	8月25日(水) 10時～15時	安部	

部会活動

エネルギー部会

部会長 北村 博子

活動報告(3月～5月)

1. 部会

- 3月28日(日)14:00～17:00 県民センター
内容:第3回環境展パネル内容打ち合わせ検討
- 4月16日(日)16:00～18:00 県民センター
内容:第3回環境展制作パネル内容検討
- 5月23日(日)14:00～17:00 県民センター
内容:第3回環境展制作パネル最終検討確認

2. 「エコライフ 皆と一緒に楽しく始めよう」

- 3月7日(日)10:30～12:30 県民センター
吉川、依田、安藤、大森、藤木、下条、青野、北村
第11回「親と子の楽しい省エネ教室」KELEを支援
内容: DVD 視聴、温暖化による環境破壊の現実紹介、電気の実験、電気の測定、節電タップ製作、カルタ取り省エネ行動目標書き込み、省エネの環作成等

活動予定(6月～8月)

1. 部会

- 6月27日(日)14:00～17:00
県民センター603
- 7月11日(日)14:00～17:00
県民センター703
- 8月15日(日)14:00～17:00
県民センター708

2. 対外活動

- 5月29日・30日・6月2日
横浜市開港祭エコゾーン出展: KELE 出展を支援
- 6月6日(日)
横浜市「環境月間パネル展」実演、KELE 出展を支援
場所: 新都市プラザ(横浜そごう地下2階正面入り口)
- 6月13日(日)10:00～16:30
第3回「親子で楽しむ環境展」展示・出展
「1986年レベルの生活と現在の生活との比較」
7月?日
横浜市消費生活推進員「省エネ教室」

8月22日(日) 11:00~16:30

子ども環境体験教室「節電タップを作ろう」

内容: 地球温暖化 DVD 視聴

電気の実験、電気の測定、節電タップ製作

燃料電池自動車試乗、エコカルタ取り

省エネカレンダー「省エネ行動目標設定」

「省エネの環」作成

夏休み省エネ教室「自然から学ぶ省エネ体験教

室」

8月?日

フィールドへ出て省エネ体験。

暑い夏、木陰の木の葉の蒸散作用による気温の低下、風による体感温度の低下による涼を身体で感じ、涼の取り方、エネルギーを使わない涼しい過ごし方を知る。又、実験なども交え、暮らしの知恵を自然から学び、日常生活で応用できるようにしたい。

ケナフ部会

部会長 荒谷 輝正

ケナフ部員が携さわった3月~5月までの活動及び6月~8月予定について報告します。

1. 活動報告

3月20日 定例会開催。

6月13日の環境展の打ち合わせ、昨年度の反省を行う。

紙漉きの技術も向上し、実用に近い物が出来るようになったとの感想が出た。

この日、環境科学センター圃場にて畑起しを実施する予定であったが、雨のため3月27日有志にて畑起しを行うことにした。

3月24日 愛川町役場の要請で、愛川東中学校での紙漉き実施。

初めての試みとして愛川町のボランティア団体がワークショップを提供する行事が開催され、ケナフ部会は愛川役場の提供するワークショップとして協力したものである。中学生はプログラムを見て自分の興味のあるものに自由に参加するシステムで、紙漉きは約50分の時間であったが15人程度の参加があり、大変好評であった。

この試みは、評判が良ければ、来年から本格的に実施されるとのことであった。

3月27日 圃場の畑起し。

本年は、昨年度が出来が悪かったので(花も少ししか咲かず、種も殆ど採れない)今まで使っていないところ(借用はしている)にも種を播くことにした。

4月3、4日 相模原ケナフの会、相模原市桜祭りに、紙漉き、及びケナフ製品を出品販売。

ケナフの芯、及びチップ化したものはニオイを吸収するので、昨年購入した人が購入するケースが多かった。 荒谷

4月25日 ケナフ部会定例会。

種まき実施。新規に購入した、ケナフ13種類の種まきを実施した。その他、環境展(6/13)及び「子ども環境体験教室」についての打ち合わせ。

5月23日 ケナフ部会定例会。

4月25日に実施した種まきの発芽が悪かったので、補植作業を行う。環境展等の打ち合わせ、当日の展示に必要なものを各自持ち帰る。

秦野市立南小学校4年生担当の栗原先生他2名の先生が来られ、来年度、秦野市が採用する教科書にケナフについて出ているので、今年から4年生に体験させたいという事で、教えて欲しいとのこと。今後、継続的に協力していきます。

2. 今後の予定(6月~8月の予定、確定分のみ)

6月13日 環境展参加(環境学習リーダー会主催) かながわ県民センター

6月20日 ケナフ定例会

6月27日 相模原市男女参画フェスティバルにて紙漉き実施 荒谷

7月26日 子ども環境体験教室「写真立を作ろう」の準備

7月28日 子ども環境体験教室「写真立を作ろう」実施

8月25日 子ども環境体験教室「ケナフ染めに挑戦しよう」実施

自然環境部会

部会長 岩田 寿郎

自然環境部会は、部会員が極めて少なく、部会という形を取れていないというのが現状です。何故なのかは今後よく考えていきたいと思いますが、K・リーダー会に集まっている方々は、自然観察や森の力については、一通り学び、卒業された方が多いからなのではないかとも思います。

しかし、自然は環境問題を考える原点ともいえます。特に、森を森らしく守ることは水の問題、大気の問題のもとをおさえていることであり、改めて自然を見てから議論を進めることが肝要と考え、森へ入ることを提案します。

季節性がありますから、この時期をはずすと又来年ということになりかねません。そこで、県の森林公社のボランティア計画のカレンダーに便乗して参加者を募り、その後、森や自然について考えを深めるといった段取りとすることを本年の目標にしよう

考えます。

その計画とは以下4件です。

- 1) 8月1日(日) ヤビツ峠での下草刈り
小田急・秦野駅集合(8:30)
- 2) 8月21日(土) 松田での下草刈り
JR(御殿場線)松田駅集合(8:30)
- 3) 9月25日(土) 松田での枝打ち

廃棄物・リサイクル部会

部会長 市川 勇

平成15年度報告(会報No.37別刷-1、P.6~7参照:石丸博司書)で述べた活動方針(持続可能で簡素な、生活の質を重視する地域の循環社会の形成を目標)を継続する。

シンプルだが魅力ある心の豊かな暮らし(エコライフ)の実現;

特に、ライフスタイルの見直し。

4R(Refuse, Reduce, Reuse, Recycle)の促進;

特に、生ゴミの堆肥化、減量化の推進を行う。

大局着眼・着手小極の考え方で必要な課題の設定や活動の促進;

K・リーダー会の事業、環境展などに積極的に参

小田急・新松田駅集合(8:30)

4) 10月9日(土) 松田での間伐

小田急・新松田駅集合(8:30)

何れも参加ご希望の方は、6月末までに岩田へFAXでご一報下さい。

ご参加の方には詳細なお知らせを致します。

連絡先: 岩田宅 Fax 046-254-9837

加し、地域で活動しているK・リーダー会会員との連携、地方自治体や地域住民への積極的な働きかけと連携、他の環境団体との連携を図る。

手段としては、それぞれの活動の状況の把握(情報調査)を行い、各分野の専門家の講演会や相談会を開催して、交流促進と実現化を図る。

以上の課題に関する検討・話し合いを下記の定例部会で行う;

6月10日(木) 7月8日(木) 13:30~17:00

海老名市市民活動サポートセンター第1会議室
活動:「~地球の未来のために~ 親子で楽しむ環境展」に参加

6月13日(日) 10:00~16:30

(会員は9:30集合)

かながわ県民センター 1F 展示場

大気環境部会

部会長 猪股 満智子

モニタリングマップは地域活動の証
~さらなる部会員以外の参加をめざして~

県環境科学センターが開発した「県民(誰もが)参加の環境モニタリング手法」とは、やさしく言い換えますと、『住み、暮らし、活動している地域の状況、変遷をより大勢の市民が継続観察(監視)していくことから、地域環境の実態、ひいては地球環境の有り様を目の当たりに共有し、我々人間がどうあるべきかに気づき、考え、行動する手立てにしていこう』というものです。

ホームページ掲載のモニタリングの結果(=マップ化)あるいは入力された点の数や位置がもつもう一つの意味は、私たち環境学習リーダーが点のついた付近、地域に居る、またはそこをベースに核となって地域の仲間や子どもたちと活動しているという証拠にもなる訳です。

しかしながら限られた地域で頑張って調査している部会員によるデータだけでは、見る側にとってもデータとしての評価は物足りないものになりがちです。実際、自分たちが暮らし、活動している地域、さらには県域の環境状況を網羅することは大変困難なことです。輩出されたK・リーダー会員はもとよ

り、活動から生まれた団体や学校関係などとのネットワークによる連携に期待されることです。ぜひ一人ひとりの貴重なデータ提供から、塵も積もれば山となるという例えがありますが、マッピング担当者が困るくらいに点が埋まりますよう、部会員以外のモニタリング参加にご協力お願いいたします。

16年度大気環境部会の主な活動は、大気環境の調査まとめ役と学習、アサガオを加えた指標生物による環境モニタリングの継続、前記を手法とした環境教育・学習へのフォローアップと調査協力者の拡充です。

活動報告

3月13日(土): 横浜市市民活動センター

環境モニタリング部会の分割の確認、活動方針・計画の策定

5月28日(金): 環境科学センター

部会、「化学物質と大気汚染」池貝隆宏講師、NO₂測定捕集管組立て

活動予定

1. NO₂一斉測定

測定日: 今回のみ6月10日(木)夕~11日(金)夕の24時間

分析日: 6月19日(土) 13:30~

環境科学センター

6月2日関内駅前 教育文化センターでの

「環境・公害合同発表会」会場で捕集管配布も可能。測定してみたいという方、至急連絡を Tel&Fax 0467-32-6858 猪股

2. タンポポ調査 (3月~5月末)

地域地図に、

セイヨウタンポポ (交雑種全部含む)

カントウタンポポ

その他のタンポポ (シロバナタンポポ等)

地図データ送付締切: 6月19日

佐伯秀夫宛

Tel&Fax 045-711-6170

〒232-0071 横浜市内南区永田北 1-14-23

もしくは環境科学センター必着

3. ツバメ調査 (5月~7月末)

地域地図に、

ツバメを見た (飛んだり、留まってもよい)

ツバメの巣を見た

どちらも確認した場所と個数を記す

4. 6月13日「親子で楽しむ環境展」に出展

道路の空気を測ってみよう、身近な生きもので環境しらべ

5. 7月17日 (土) 13:00~16:00

環境科学センター主催「子ども環境体験教室」に出講

ツバメ・アサガオで環境チェック

水環境部会

事業担当 古谷 敏夫

当部会は、16年3月13日に部員12名で発足し、日照りニモ、雨ニモマケズ活動しております。活動のねらいは水生生物、主に底生動物の生態・採取・分析で今年度は鮎沢川 (山北町から静岡県小山町) と酒匂川支流 (小田原市) を調査地域として設定し活動しています。これらの地域での重点調査対象は外来種である、フロリダマミズヨコエビ・コモチカワツボ (参考・神奈川県環境科学センターNEWS・2004-3通巻8号。新聞記事・朝日・読売・神奈川16-2-26掲載) の拡大分布とシマイシヒル・ミズムシの4種を調査目標としております。

底生動物は、未発見の新種も多いことから採取した動物で部員の知識では分からない標本は科学センターに持参して分析をお願いしております。そのうちに採取者名のついたコンドウカワゲラなど正式に命名される日がくるかもしれません。

部会の方針は、(安全・快適・学習) で明るく元気に活動しています。

1. 16年度活動予定

(1) 鮎沢川探水調査 (神奈川県) 4月18日

(2) 鮎沢川探水調査 (静岡県) 5月23日

(3) 鮎沢川探水調査 (静岡県) 6月20日

(4) 酒匂川探水調査 (神奈川県) 7月18日

(5) 酒匂川探水調査 (神奈川県) 8月22日

(6) 鮎沢川探水調査 (神奈川県) 9月19日

(7) 酒匂川探水調査 (神奈川県) 10月10日

(8) 酒匂川探水調査 (神奈川県) 11月7日

(9) 調査結果研究会 (センター) 11月末日

(10) 17年度活動計画作成 (センター) 3月中旬

2. 活動状況 (4月-5月)

(1) 4月18日 鮎沢川 (清水橋付近)

部員9名で、採取調査を行ったが幸いに外来種は採取されなかった。

(2) 5月23日 鮎沢川 (透間・福祉センター付近)

部員7名で、神奈川県内と静岡県内を採取調査、外来種2種は採取されず。なお特異な底生動物が採取されたことから、センターに分析依頼する。

3. 報告にあたり

水環境部会 (略称・水部会) は、ご案内のとおり生まれて間もないベビー部会ですが、部員の意欲は新たな目標に向かって元気いっぱい! 採取場所を特定するため部員自らGPS・ナビゲーターを購入しデータを取るなど科学的手法を取り入れています。

リーダー会の皆様で、興味のある方、又体験調査をご希望の方は、部会長斉藤までご連絡下さい。

次回号では、新たな発見を皆様にお知らせできることを思いながら、部会報告を終わります。

地域活動サポート部

部長 香川 興勝

1. 活動報告 (3~5月)

・4/27「地域活動グループおよび環境学習講師などの実態調査」の検討会をおこない、最終案を作成した。

・5/10 役員会において「地域活動グループおよび

環境学習講師などの実態調査」最終案の説明をおこない、会報38号に掲載することの承認を得た。

2. 活動予定 (6~8月)

・会報38号に掲載されたアンケート (6/20締め切り) を回収し、結果を集計する。

・集計結果を解析し今後の部活動に有効に活用する方策を検討する。

会報を電子情報で！

広報部 黒澤 宏

会報は紙に印刷したものをお届けしていますが、紙で受取らずに電子情報で受取りたい会員がおられると思います。会報を電子情報で受取る方法は、K・リーダー会のメーリングリストの「ホームページ」にアクセスし、その「ホームページ」の中の「ブリーフケース」を開く方法になります。具体的な方法は本誌の「豆知識のページ」に記載されています。

紙の会報はモノクロ印刷ですが、電子情報の会報はカラー写真など一部がカラーになっています。つきましては、紙の会報の郵送が不要である方は下記へご連絡下さい。

黒澤 宏 メール fk5h-krs@asahi-net.or.jp FAX 0463-88-5193

= 豆知識のページ =

メーリングリストの ホームページを 有効に使いましょう

広報部 原園 信夫

メールをお使いの皆様で、メール宛先が k-leader@yahoo.com となっているメール（すなわち、メールの件名が[k-leader]で始まっているメール）を受取っている人は環境学習リーダー会のメーリングリスト（ML）に登録されている人（メンバーと呼びます）です。

このMLにはホームページがあり、そのホームページには、メンバーしか使えない便利な機能があるので、その使い方について説明いたします。

【主な機能】

メンバーになると使える機能の主なものは以下のものです。

1. メッセージ：メンバーが投稿したメールを（すなわち、メンバーがMLを使ってメンバー全員に発信したメールを）、メンバーはパソコンで見ることができます。
2000年以降現在までに発信されたメールを見ることができます（現在約1200件あります）。
2. ブリーフケース：ハードディスクのような機能であり、メンバーはブリーフケースにファイルを入れる（アップロードする）ことも、ブリーフケース内のファイルを見ることも、ダウンロードすることもできます。
現在は今までの会報、パンフレットなどが入っています。
3. フォトアルバム：ブリーフケースと同様の機能ですが、対象は画像ファイルです。たとえば環

境展などの数多くの写真をこのフォトアルバムへ入れておくと、メンバーはその写真を見ることも、ダウンロードすることもできます。

4. 投票：アンケートにメンバーがパソコンで回答し、その回答を自動集計する機能です。例えば、NPO法人に対する会員の意見を求める場合に、投票という機能で対応することができます。
5. その他：リアルタイムの会話（チャット）、グループがよく使うURLをブックマークとして登録する（ブックマーク）、共通のデータベースを作るなどの機能がありますので、皆さんで機能を活用していけたらと考えています。

【ID、パスワードの取得】

上記の機能を使うために、Yahoo! JAPANのIDとパスワードを下記手順で取得して下さい。すでにIDとパスワードをお持ちの方は、後記【IDとパスワードをすでにお持ちの方】へ進んで下さい。

1. K・リーダー会MLのホームページ <http://groups.yahoo.co.jp/group/k-leader/>を開く。
開き方は、下記a・b・どちらかでホームページ（後記の画面-1）に入ります。
 - a. 5月29日付けでメーリングリスト活用の案内メールを発信します。そのメールの一番下にある上記URLアドレスをクリックする。
 - b. 検索ソフト（例えば、Yahoo! JAPAN）のホームページを開き、このアドレスをアドレス欄へ入力し、Enterキーを押す。K・リーダー会MLのホームページが表示される。
2. 画面-1の右上部の「ログイン」をクリックする。
ログイン画面になる。（後記の画面-2）
3. 画面-2の「Yahoo! JAPAN IDを登録」をクリックする。
Yahoo! JAPAN ID登録画面になる。（後記の画面-3）
4. 画面-3で次の操作をする。
 - a. 「Yahoo! JAPAN ID」欄に好きな英数字を入れる。

- b. 「パスワード」欄などの各欄に入力する。
パスワードを忘れないようにメモして下さい。
 - c. Yahoo! JAPAN からの広告メールの受取りを望まない場合は、「Yahoo! JAPAN から特集などのお知らせや Yahoo!デリバー」のチェックマークを外す（クリックすれば消える）。
 - d. 画面下部の「画像認証」の数字を半角で入力したら、「利用規約に同意して登録する」をクリックする。
5. 画面が切り替わって、「赤く表示されている項目をもう一度入力してください」と表示されたら、画面指示に従って入力し直し、画面下部の「利用規約に同意して登録する」をクリックする。
6. 「Yahoo! JAPAN ID 登録が完了しました」と表示された画面が出たら、画面下部の「Yahoo! グループへ」をクリックする。
画面が替わって、メールアドレスの認証画面になる。
この画面の、「メールアドレスの認証」の語の下に表示された自分のメールアドレスの右の「認証」をクリックする。
7. 「メールアドレス認証 - 必須」と書かれた画面があるので、「認証コード」と「パスワード」を入力する。「認証コード」は、Yahoo! JAPAN ID 登録後にメールアドレス宛に送られてくるのでそれを入力する。「パスワード」は、4.b. で登録したものを使う。
入力してから、「認証」をクリックする。「メールアドレスの認証」画面になる。
8. この画面の

(メールアドレス)

 別の Yahoo!

JAPAN ID で参加中

参加設定の変更

 の中の「参加設定の変更」をクリックする。画面が「参加設定の変更」になる。
9. 「参加設定の変更」の画面に示された各項目（ニックネーム、メールアドレス、メッセージの配信方法、メッセージの受信形式、Yahoo!グループ ニュースレターの購読)を設定する。画面下部の「適用」をクリックする。「参加設定の更新完了」と表示された画面になる。
10. この画面が出ると登録は終わりです。お疲れ様でした。今後 ML の機能を使えます。
- a. ML の機能をすぐ使う場合は、画面中央の「k-leader のメインページに戻る」をクリックする。
以降は、後記【ログインして機能を使う】の手順 2. へ進む。
 - b. すぐ使わない場合は、画面右の「ログアウト」をクリックする。

【ID とパスワードをすでにお持ちの方】

K・リーダー会 ML のホームページ用以外の目的で Yahoo! JAPAN の ID とパスワードをすでにお持

ちの方は下記手順でニックネームの編集をして下さい。

K・リーダー会 ML のホームページ用に Yahoo! JAPAN の ID とパスワードを取得済の方は下記手順を省いて、後記の【ログインして機能を使う】へ進んで下さい。

1. 【ID、パスワードの取得】の手順 1. と 2. の操作をしてログイン画面(後記の画面 - 2)を出し、Yahoo! JAPAN の ID、パスワードを入力し「ログイン」をクリックする。ニックネームの選択画面になる。(後記の画面 - 4)
2. 「ニックネームの編集と作成」をクリックする。
**さんの公開プロフィール画面になる。
3. 適当なニックネームをつける。
メールアドレスの公開 非公開にチェックする。最後に一番下の「決定」をクリックする。
4. 同じ画面が出てくるので下段の「適用」をクリックする。
5. 「k-leader グループのメインページへ」の表示が出るので、クリックする。
6. k-leader グループのホームページに入ります。

【ログインして機能を使う】

ID とパスワードを取得済の方が K・リーダー会 ML のホームページの機能を使うときは、次の手順でログインして下さい。

1. 【ID、パスワードの取得】の手順 1. と 2. の操作をしてログイン画面(後記の画面 - 2)を出し、Yahoo! JAPAN の ID、パスワードを入力し「ログイン」をクリックする。(ログイン画面を出す方法は他にもありますが、説明を省きます)
2. K・リーダー会 ML のホームページが表れます。
画面左の「グループメニュー」欄のどれかをクリックすると、その機能が使えます。
例えば、「ブリーフケース」をクリックすると、「ブリーフケース」内のファイルを見たり、ダウンロードすることが出来ます。「ブリーフケース」内には「会報」が入っているので、「会報」をクリックして、更に会報 No. をクリックするとその会報が表れます。
3. 終了するときは、「x」ボタン（閉じるボタン）で終了しないで、画面右上の「ログアウト」をクリックしましょう。セキュリティの面からです。

【問い合わせ】

操作の不明点は下記にお問い合わせ下さい。

原園 信夫

メール harazono@eva.hi-ho.ne.jp

画面集





「アジェンダ 21 かながわ 環境情報相談コーナー」

広報部 羽生田 洋啓

神奈川県を表記コーナーが去る4月20日にかながわ県民センターに開設されました。

そこで、表記コーナーについて県の担当部署である環境農政部環境計画課の西村課長代理、船本主幹にお話をうかがいました。

1. 名称

「アジェンダ 21 かながわ環境情報相談コーナー」と呼びます。

この名前の他に親しみやすい愛称を付けようと、愛称募集が行われました。近々に愛称が発表される予定です。(愛称が未定なので、本稿では「相談コーナー」と記します。)

2. 設置のねらい

「相談コーナー」の設置は、環境分野の情報提供、相談機能を充実することをねらいとしています。特に、次の分野に重点が置かれます。

マイアジェンダの普及
地球温暖化防止活動の推進
総合的な環境教育の推進
環境情報ニーズへの的確な対応

3. 業務内容

「相談コーナー」は次の業務を行います。

A. 情報提供・相談業務

ホームページ「かながわの環境」やマイアジェンダ、地球温暖化関係のホームページを活用した情報の提供

「かながわの環境」やマイアジェンダに関するメールマガジンを活用した情報の提供
マイアジェンダや地球温暖化など環境分野全般に関する情報相談業務

個人からのマイアジェンダ登録の受け付け、など

B. 普及啓発活動業務

マイアジェンダ登録を集計し、内容を分析し、優良事例を抽出・表彰し、事例の普及を図る

環境家計簿等の普及啓発物の展示・貸出

省エネ機材などの展示・貸出

環境教育資材の展示・貸出

環境月間などの環境分野の普及啓発キャンペーンの企画

C. 情報交換・相互交流業務

NPO、NGO との交流の場の提供

環境分野の NPO、NGO 等のデータベースの作成

NPO、NGO 等のネットワークの構築

4. 「相談コーナー」の対象者

対象者は県民、企業、NPO、学校、市町村等、県内全域のあらゆる行動主体ですが、特に、県民、企業、NPO を重点対象にします。

5. スタッフ

「相談コーナー」では次のスタッフが交代で勤務しています。

県の環境情報コーディネーター(このコーディネーターは15名で、その中10名が環境学習リーダー会の会員です)

NPO 法人かながわアジェンダ推進センターのスタッフ(このセンターは県から「神奈川県地球温暖化防止活動推進センター」に指定されています)

6. 昨年度との相違

「相談コーナー」の設置にともない、昨年度までかながわ県民センターと環境科学センターに配置された環境学習アドバイザーおよび環境情報コーディネーターは廃止になりました。

昨年度までとの相違は；

業務場所がカウンターから部屋になった
業務時間が週3回から週7日になった
情報源が個人情報主体から個人情報プラスNPO 法人情報になった、などがあります。

7. 対象者へのお願い

「相談コーナー」の窓口を気軽に利用して下さい。また、情報・チラシなどを「相談コーナー」へ寄せ、そこを經由して情報を必要とする人に伝わるようにすることにより、「相談コーナー」を育てて下さい。

場所と時間

1. 設置場所

かながわ県民センター3階の1室

TEL 045-321-7453 (直通)

E-mail agendacorner@kccca.jp

2. 利用時間

年末年始を除く毎日、9:00~20:00



「相談コーナー」入口に看板を設置する松沢県知事(4月20日)

会員の広場



「地球っ子ひろば」のスタッフ大募集！！

齋藤 美代子（平塚市）

「地球っ子ひろば」は子供たちに、物づくりや体験を通して環境問題を楽しみながら伝える活動をしています。お蔭様でK・リーダー会のご協力も得て、3年目を迎えました。

「地球っ子ひろば」のスタッフメンバーは環境学習リーダーです。

昨年度「地球っ子ひろば」の活動を平塚市に評価していただき、平塚市の市民ファンドを獲得し資金の補助を受けました。

今後も子供達と一緒に地道な環境活動をめざしていきます。



かながわエコタウン 2003

こんな活動をしています

小学生を対象に月に1度の環境教室を開催しています。おもな開催場所は環境科学センターの実習室です。また、K・リーダー会や行政からの依頼で環境展などに参加したり、出前講座などを行っています。

「地球っ子ひろば」の主な開催内容は、エネルギー、水、自然、土、などのテーマでリサイクル品などを使い、物づくりや自然にふれる体験を通して「作る喜び」や「ふしぎ発見」にいどみます。

例えば、

「天ぷら油でローソクをつくる」

「透視度計をつかって川のよごれをみる」

「ペットボトルでツルグレン装置をつくり土の中の生き物を調べる」

「電気であそぼう」

「トレイ、フィルムケースなどでソーラーカー作り」

「秋の公園でネイチャーゲーム」

「餌台をつくって庭に鳥を呼ぼう」

*7/18(日)は13:00から「田んぼの探検」をおこないます。



香りローソクづくり

募集します！こんな人！

- ・「地球っ子ひろば」の活動の企画をしてみたいと考えている人
- ・こどものサポートをしてみたいと思っている人
- ・ちょっと、関心があり、何か活動してみようと考え中の人
- ・子どもと一緒に不思議、よろこびを味わってみたい人

問い合わせ・申し込み

齋藤 美代子（0463 - 55 - 2103）

山口 洋子（0463 - 55 - 3091）

山田 あや子（046 - 245 - 5563）



空飛ぶ種を作ろう

「温室効果ガス観測技術衛星“GOSAT”利用シンポジウム」に出席して

香川 興勝（小田原市）

快晴の4月21日、東京千代田区一ツ橋の学術総合センター・一橋記念講堂で開催された標記シンポジウムに出席した。

快晴で湿度も低く、たまには都心を散歩しようと水道橋駅で下車し、白山通りを南下して約10分皇居に近い一橋記念講堂に到着した。

シンポジウム出席者は350名、外国人が約30名、年齢層は20代後半から60代後半迄幅広く、大学・国立関係の研究者が多いのが特徴であった（事務局談）。環境学習リーダー会会員は北村博子さんと私の二人でした。

このシンポジウムは Berrien Moore 教授（ニューハンプシャー大・IPCC気候変動に関する政府間パネル第3次報告書の主執筆者）と安岡善文教授（東京大学・温室効果ガス観測技術衛星“GOSAT”^{*1}:ゴースット）のチーフサイエンティスト）の招待講演とパネルディスカッション（宇宙からの二酸化炭素観測で何がわかるか）で構成され、合計3時間行われた。

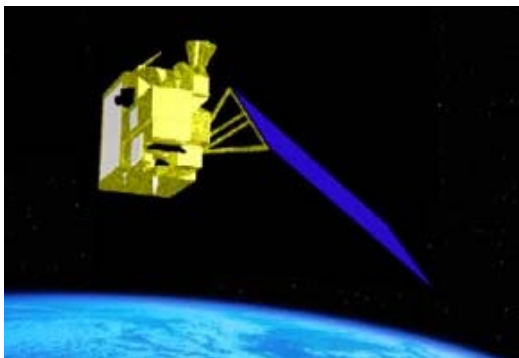
^{*1}（GOSAT：Greenhouse Gas Observing SATellite：ゴースット）

以下、招待講演とパネルディスカッションの内容を合わせ報告します。

1.“GOSAT”の開発

“GOSAT”は宇宙航空研究開発機構（JAXA）環境省および国立環境研究所の共同プロジェクトで、JAXAは衛星の開発・打ち上げおよびデータの取得運用を担当し、環境省と国立環境研究所は取得したデータを基にした温室効果ガス吸収排出状況の把握などの利用を担当する。衛星は2008年2月に高度615km

の周回軌道に打ち上げ、地球規模で二酸化炭素などの温室効果ガスの濃度分布を調査する。



最低5年間稼働、総重量1,650kg、総事業費253億円の国のプロジェクト。

2.“GOSAT”による温室効果ガス観測の特徴

温室効果ガスの濃度分布の測定は、現在地上の観測地点、定期貨物船を利用した海上観測点、航空機を利用した高度観測点、の測定データを基にしているが、その数が少なく地域的にも偏っています。さらに温室効果ガスは場所による違いがあり、時間帯や高度などによっても大きく変化し、アフリカや東南アジアなど現在の観測体制では空白地域も大きく、地球規模では信頼性に乏しく改善が望まれています。

そこで、GOSATは約100分で地球を一周する軌道から地球表面のほぼ全域にわたって温室効果ガス（二酸化炭素、メタンなど）の濃度分布や吸収量、放出量を、特別に開発されたセンサーにより、誤差1%の精度で測定するために開発されたものです。

また同じ地点の測定データを3日に1度取得できるので、継続観測することにより従来に比べて圧倒的に数多くの地点の測定データを高頻度で取得出来、かつその推移を知ることが可能なのです。

つまり、世界各地における温室効果ガスの増減とその推移を高い精度で測定することが可能なのです。

また、地上や航空機からの観測では、観測センサーの種類の違いや性能のバラツキにより、観測データを比較するのが容易ではないという問題がありました。

しかし、GOSATでは一つのセンサーで世界中を観測するために同じ物差しで比較することが出来るというおおきな利点があります。

3.“GOSAT”データの利用

GOSATで得られたデータは、京都議定書で定められた各国の削減義務が、2008年～2012年の期間中に実現されたかどうかを評価するのに役立てられます。

すなわち、大陸別や国別に温暖化ガス削減の目標達成度を客観的に示すことが出来ます。

（現在は、京都議定書で6%削減という目標を掲げながら、それを評価するための計測法が明確ではありません。総合科学技術会議第14回宇宙開発利用専門調査会議事録 資料16-3、平成15年11月6日）

GOSATのデータは地球温暖化の影響・評価と対応策作成のための基礎データとして利用されます。地球温暖化の影響は何時、何処に、どんな形で現

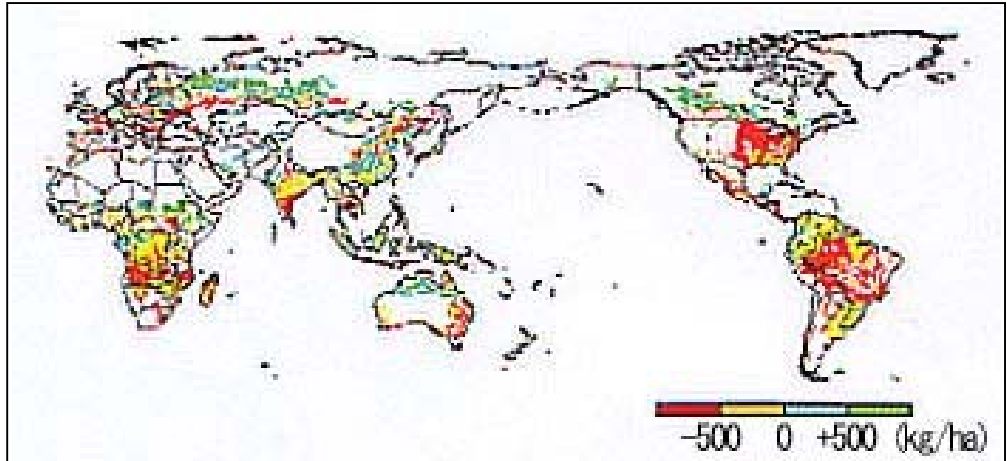
れるのか？ その被害はどの程度なのか？ そしてその影響を低減するような対策はなにか？ 等の問題

に答えるための基礎データとして利用されます。

具体的には、地球温暖化による将来の気候変化を予測して、それに基づいた農業、水資源、植物・生物、人間の健康（マラリアや暑熱）に与える影響を予測し、対策を考慮していく研究が国立環境研究所地球環境研究センターを中心に行われています。GOSAT のデータはこれらの予測研究の確率を上げ、有効な対策を的確な時期に示していくためにも利用されます。

我々も世界が注目している温室効果ガス観測

技術衛星 - GOSAT - に注目していきましょう。



将来の気候変化予測に基づいて 2050 年におけるコメの年産量の変化を予測した事例 (CCSR/NIES GCM)

編集部注：上図の原本はカラー図です。モノクロ印刷では図の意図を表現できませんが、K・リーダー会メーリングリスト (ML) のホームページにカラー版の会報を掲載しています。カラー図はそちらをご覧ください。

MLホームページへのアクセス方法は、本誌の「豆知識の頁」をご覧ください。

掲示板

～地球の未来のために～
第3回親子で楽しむ環境展

日時：6月13日(日) 10:00～16:30
場所：かながわ県民センター1階展示場
(横浜駅西口から徒歩5分)

展示内容：体験項目

- ・1980年代後半の生活実感：楽しい省エネ体験・実験
- ・4Rのパネル：エコライフ健康診断・カルテ提案
- ・H16年度ごみ分析結果：環境パズル・罰ゲーム
- ・面白いよ作ること：リサイクル工作
- ・身近な環境を知ろう：生き物でわかる環境
- ・自然を知ろう
- ・“安心・安全”のまちづくり：まちへ出て体験
- ・地域でのまちづくりを目指して：パネルセッション
- ・暴れ川は恵みの川
- ・ケナフを育てて楽しもう：ケナフ紙漉き
- ・子どもアジェンダ：子ども達の考える30年後の
かながわ

第3回親子で楽しむ環境展は、「かながわアジェンダ普及啓発推進事業」として実施されます。

夫々の出展グループは、今までとは違った視点で、今回の環境展に趣向を凝らして臨んでいます。実行委員一同は、多くの会員の皆様がこれからの日本を



背負う若い方々をお誘い合わせ、ご来場いただける事と心からお待ちしております。

会費納入のお願い

当会の活動は皆様の会費でささえられています。

16年度の会費お払い込みのために振替用紙を同封いたします、皆様、多忙とは存じますが、早めに郵便局でお振込みをよろしくお願い申し上げます。

郵便局振替番号：00230-4-30769

口座名：神奈川県環境学習リーダー会

編集後記

先日5月22日のニュースに「ロシアのプーチン大統領が京都議定書批准を近く議会に提案する方針を表明した」がありました。ロシア議会は与党が過半数を占めているので、提案されれば批准されるでしょう。

ロシアが批准すると、京都議定書の発効要件が満たされるので、ロシアの批准への動きが要注目になります。京都議定書が京都で採択されたのが1997年でしたので、もう7年も過ぎてしまいました。時間のかかる条約ですね。

広報部 羽生田 洋啓

発行人：神奈川県環境学習リーダー会

代表 近藤 作司

編集人：広報部長 黒澤 宏

TEL/FAX 0463-88-5193

発行日：2004年5月30日